

平成二十一年度

東京都市大学付属中学校

(第一回)

入学試験問題

国語
七の一

(注意) 解答はすべて解答用紙に書きなさい。

【一】次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。なお、本文には省略した部分があります。

①「国語は大事」「国語の読解力が足りない」「国語の授業時間をもっと増やせ」

今、国語教育に関するさまざまな言が巷にあふれています。

国語とは、すなわち日本語です。国語の勉強は学校でするもので、国語の力が足りないのは学校のせい。さらに、つきつめていけば、学校の授業の担当者である先生の責任だ。子どもの国語力が向上しないのは、先生の教え方が悪いのだ。時間数が足りないのだ。そんな論理がまかり通っている気がします。

〔 A 〕 もう一度よく考えてみてください。日本語を使っている場面は学校の国語の授業だけではありません。私たちは生まれ出した瞬間から日本語の世界にいます。そして一日二十四時間、一年三百六十五日、日本語にひたし、小学校に入学するまでにすでに六年間の年月が経っているのです。そのように考えれば、決して学校の授業だけが国語(日本語)の勉強だとはいえなれないと思います。

日本文化を身につけようと言っても、文字を追っただけでは、その言語文化を味わったことにはなりません。自分の力で咀嚼すること、咀嚼する力を得て、自分の栄養とすることが大事だと言えます。

②今と昔を比べると、昔のほうが日本語の学習が非常に身近なところにあつたと思います。しかも勉強などということを意識せず、家族や地域の中でごく自然に身につけていったものです。そして、そこで学んだ日本語こそが非常に大事なものでした。

今は国語の授業だけが、日本語の学習の場になつてしまっているような気がします。〔 B 〕 その授業が教科書の解説の暗記だけで終わつてしまつていたら、本物の日本語の学習はいつ、どこでするのでしょうか。豊かな表現力をもつ、優しい心を持ち主になつてほしいと思ふなら、幼いときから書く習慣を身につけさせることをおすすめします。

こう言うと、「メールや電話で、いくらだつて相手と話をしている」という反論が聞えてきそうです。しかし、メールや電話と、絵日記や手紙とは違います。一番の大きな違いは、単語と文章の違いです。

日本語の最小単位は「単語」です。メールでは、一つか二つの言葉の繰り返しが多いではありません。それに反して手紙や絵日記では、非常に複雑な思考の中で単語をつつり合わせて文章を作り上げていかななくてはなりません。主語は、述語は、修飾語は、接続語は、独立語は、というように。〔 C 〕 名詞や代名詞は、動詞は、形容詞は、形容動詞は、接続詞は、副詞は、連体詞は、助詞は、助動詞は、感動詞はというように、文法用語はわからなくても、正しい日本語になるようにつなぎ合わせていく努力をします。その作業を五歳、六歳の頃から続けていけば、自然に日本語の文章力は鍛えられるのです。

逆に、国語力の向上になるからといって練習問題はばかりをして、国語の勉強をしているつもりになつていると、中学生になつていざ作文を書くように言われても、単語しか書けない人間になつてしまいます。文章を書く「筋トレ」をしていない人は、単語から文章を作り上げる日本語の理解力がないわけです。そのような人間はたとえるならば、中が空洞の人形です。中が空洞なのですから、文章を読んで中身を理解する力がつくはずはありません。

③日常生活の中における日本語学習の大切さを述べてきましたが、もう一つ大事なものがあります。それは挨拶です。

一口に挨拶といっても、友達に対するものと、目上の人に対するものとは、おのずから違います。昔、その違いを教えたのが父親であり、母親であり、祖父母であり、おじさんやおばさんであつたと思います。子どもは挨拶を繰り返していくうちにその違いを知り、日本語の文化そのもの、すなわち「長幼の序」を身につけていったのです。そのことを今こそ、もう一度考え直してみるべきではないでしょうか。

人が社会生活を始める第一歩は、挨拶です。職場でも挨拶は大事です。道や廊下ですれ違うときの態度を調べてみると、四つのタイプに分けられました。

- 一、まるでごみの近くを通り過ぎるように、スリしていく。
- 二、すれ違うことを認識しているにもかかわらず、すれ違う瞬間、目をそらす。
- 三、離れているときからすれ違う瞬間を認識し、丁寧に会釈をする。
- 四、すれ違う瞬間、いかにも自分は偉いのだといわんばかりの、慥然無礼な態度をとる。

(注意) 解答はすべて解答用紙に書きなさい。

あなたの「マウリ」には、どのタイプが多いですか。もちろん、三番目が良いに決まっていますが、情けないことに、他のタイプもかなり多いようです。

④ 日常会話の中で、言葉による目に見えない文化にも一つ「敬語」があります。挨拶の中でも頻繁に使われます。社会人になれば、敬語は必須アイテムの一つでしょう。新人研修でも敬語の使い方を指導しているようですが、新入社員にとってはなかなか難しいものです。今の小中高校では、どれほど敬語の学習に取り組んでいるでしょう。おそらく、こくわすかだと思えます。時間数が足りないのも一つの理由でしょうが、敬語に対する意識が、大人も子どもも低いのです。

「いちいち敬語など使わなくても、相手にちゃんと意思は通じるからいい」という考え方が多いのではないのでしょうか。また、「敬語を使わないほうが相手に対する親しみが薄く」というおかしな考えもあるようです。現に、生徒とおしゃべり感覚で話したほうがお互いの親密さが増すなどという「友達教師」もみられます。世間にも、そうした関係を求める風潮があるように思えます。

敬語の根本的な理念は、相手を尊重することです。決して古臭い考え方ではありません。敬語を使いながら、無意識のうちに「長幼の序」に沿った言葉遣いを身につけていくのです。言葉遣いとは、単に表面的なものではありません。「形式より中身で十分だ」という声も聞こえてきそうですが、外側から「ツツむ」ことで中身が保護されると同様に、敬語を使うことで相手に対する敬意もいつそ育まれるのです。尊敬語を使えば、自然に相手を敬う気持ちで話すことができます。また、謙譲語を使えば、自然に相手に対して謙虚な気持ちになるのです。そういう気持ちは必ず相手に通じ、相手もまたこちらを大事に思いながらコミュニケーションをするでしょう。それこそ理想的な会話だと思えますが、いかがでしょうか。汚い言葉や、相手を侮蔑する言葉遣いでは、理想の会話にはなりえないと思えます。

⑤ 私は中学一年生を対象に、教材を通して一年間で約六回前後の作文を書かせています。

生徒は一年間をかけて、作者のメッセージを、自分との接点を手がかりに心で受け止めるようになります。そして一年間の作文を個人ごとにまとめた「個人文集」として生徒に返却した時、その編集後記に生徒たちは次のように書いています。

- ・人間として社会で生きていくためのルールや心の持ち方を学んだ。
- ・今までは文章の流れを讀みただけだったが一年間で奥の深い読みができるようになった。
- ・今までなぜ国語なんて勉強するのかわからなかったが、必要だとわかった。日本語の文章はこんなに難しいのがと知った。
- ・難しい日本語を正しく使えるようになるために、これからも一生懸命に取り組みたい。
- ・大人になった時、美しい日本語を美しく話せるようになるために頑張りたい。
- ・今まで文章を書くのが苦手だったが、一年たつて自分の意見や考えがすらすら書ける自分に気がついた。

中学入学の時点で、すでに多くの生徒が「国語という教科は勉強しなくてもいいんだ」「必要ないんだ」と思ってしまう場合が非常に多いような気がします。その間違った思い込みを一年間かけて正していくのが、国語教育の実情なのです。

⑥ 日本人は、日本語を一生使います。そして、日常的に使います。今こそ、日本語生活に目を向けるべきではないでしょうか。そのためにはまず、大人が子どもにそのお手本を見せてあげてください。

家庭でも、学校でも、職場でも、日常生活の中で使う美しい日本語が、お互いの心を育て、人格の涵養にもつながると思うのです。お父さん、お母さん、お子さんとの会話のひと言ひと言に、子どもを育てる鍵があると思ってください。おじいちゃん、おばあちゃん、お孫さんとの手紙のやり取りの中で、思いやりの心を育てているのだと思ってください。

学校の先生方、生徒との会話の中で、挨拶の中で、学級日誌の中で、子どもの人格を育ててください。生徒との会話が、侮蔑行為のお手本であってははいけません。生徒との挨拶が、お互いをムスするお手本であってははいけません。学級日誌がいたずら書きや卑劣な言葉の「マウリ」場であってははいけません。

子どもはなんでも吸収します。今の子どもや若者の言葉の乱れは、そのまま大人や社会の言葉の乱れを映したものだといえるでしょう。

⑦ 美しい日本語を、もう一度みんなで見つめ直していきたいものです。

(佐々木洋子『言葉を封印してしまった子どもたち』より)

※殷勤無礼：うわべでは丁寧なようで、実は尊大であること。

(注意) 解答はすべて解答用紙に書きなさい。

※商養：自然に水がしみこむように徐々に養い育てること。

問一 — 線 a と e のカタカナを漢字に直しなさい。

問二 空らん (A) (C) にあてはまる最もふさわしい言葉を次から選び、それぞれ記号で答えなさい。

ア しかも イ すると ウ ところで エ あるいは オ しかし

問三 文中の [1] [6] は意味段落の番号を表します。それぞれにタイトルをつけた時、 [1] [2] [6] の段落のタイトルとして最もふさわしいものを次から選び、それぞれ記号で答えなさい。

- ア 挨拶で日本語の文化を学ぶ
- イ 敬語で相手と自分の立場の違いを知る
- ウ 書く習慣が国語力を高める
- エ 日本語はどこで学ぶのか
- オ 大人から子どもへ、美しい日本語を伝えよう
- カ 文学作品を通した作文で心を育てる

問四 — 線 ① と ④ の「ない」の中で一つだけ意味・用法の違うものがありますがそれはどれですか。記号で答えなさい。

問五 — 線 i と v の「か」を意味・用法に従って分類したものととして正しいものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア (i . v) (ii . iii) (iv) イ (i . iii) (ii . iv) (v)
- ウ (i) (ii . iii . v) (iv) エ (i . iv) (ii . iii) (v)

問六 — 線 ① ・ ⑦ の語の文中での意味として最もふさわしいものを次から選び、それぞれ記号で答えなさい。

- | | |
|--------------|-----------|
| ① 「つきつめていけば」 | ⑦ 「おのずから」 |
| ア 根本まで調べていくと | ア 最初から |
| イ 最後まで続けていると | イ きつと |
| ウ ねばり強く理解すると | ウ すべて |
| エ 長い間研究していくと | エ 自然と |

問七 — 線 ② 「決して学校の授業だけが国語（日本語）の勉強だとはいえない」とありますが、では筆者はそれ以外でどこが国語の勉強の場だと述べていますか。文中からふさわしい言葉を四字でぬき出しなさい。

問八 — 線 ③ 「言語文化」とありますが、筆者は文中で日本語としての言語文化にはどのようなものがあると述べていますか。ふさわしい言葉を文中から二つぬき出しなさい。

問九 — 線 ④ 「そこ」とありますが、それが具体的に指し示している内容を文中から十字以内でぬき出しなさい。

問十 — 線 ⑤ 「本物の日本語の学習」とありますが、筆者が「本物の日本語の学習」として不可欠であると述べているものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 主語や述語、名詞や動詞などの言葉を暗記していくこと。
- イ できる限り教科書の中身を理解しようとする事。
- ウ 言葉をつなぎ合わせて文章にする練習をすること。
- エ メールや電話でこまめに人と話をする習慣をつけること。
- オ 国語の練習問題を解き、その解法をよく理解すること。

問十一 — 線 ⑥ 「中が空洞の人形」とありますが、これはどのような人のたとえですか。最もふさわしいものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 単語はたくさん知っているが、それを組み立てる応用力はない人のこと。
- イ 単語の勉強はしているが、それを使って問題を解くことはできない人のこと。

(注意) 解答はすべて解答用紙に書きなさい。

- ウ メールや電話で話すことはできるが、日記や手紙は書こうとしない人のこと。
- エ 日本語の学習を学習として意識せず、その結果文章を読む力を持っていない人のこと。
- オ 文章を書く努力はするけれど、単語の知識に欠けていて書くことのできない人のこと。

問十二 — 線⑧『長幼の序』を身につけていった』とありますが、『長幼の序』を身につけ』るとはどのような意味ですか。文中の具体例を使い、『くによつてくを身につけること』という形で五十字以内で答えなさい。

問十三 — 線⑨『敬語を使い』とありますが、これについて次の問いに答えなさい。

(1) 次の敬語の使用例のうち、正しく敬語を使っているものを一つ選び、記号で答えなさい。

- ア お花に水をさしあげる。
- イ 野沢先生がぼくの家につかがう。
- ウ 母が新井先生にお礼を申しました。
- エ 朝倉様がおっしゃられることは間違ひありません。

(2) 次の表は「する」「食べる」「見る」についての敬語の表です。空らん(い)う(は)にあてはまる言葉を入れなさい。(ただし、それぞれの語をそのまま使った答えは不可とする。㊦「思つてお思いになる」は不可。)

	する	食べる	見る
尊敬語	(い)	召し上がる	(は)
謙讓語	いたす	(ろ)	拝見する

問十四 — 線⑩『その間違つた思い込みを一年間かけて正していく』とありますが、筆者の取り組みとそれに対する生徒の編集後記から考えたとき、元々『国語という教科は勉強しなくてもいいんだ』と考えていた生徒達がどうして『国語という教科を勉強しなくてはいけない』と思うようになったのですか。その説明として最もふさわしいものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア 美しい日本語は時間をかけさえすれば習得できるとわかったから。
- イ 文章は書けば書くほどより面白くなるものであるとわかったから。
- ウ 国語はやつた分だけ点数がのびていく科目であるとわかったから。
- エ 日本語が思っていた以上に難しいものであることがわかったから。

問十五 — 線⑪『美しい日本語』とありますが、これを見つめ直すことにより、どのような人になって欲しいと筆者は考えていますか。次の文の□にあてはまるように文中から六字で二つ抜き出して答えなさい。ただし二つの空らんの内容を重複させないこと。

(□と□を持った人。)

問題は【二】に続きます。

平成二十一年度

東京都市大学付属中学校

(第一回)

入学試験問題

国語
七の五

(注意) 解答はすべて解答用紙に書きなさい。

【二】次の詩を読んで、後の問いに答えなさい。

なわとび

くろさわ達也

① まあるい風のかごができる

透きとおったうでが何本も生える

ぼくの手首がまわる数だけ

ぼくが地球を離れる数だけ

はじめは、二と教えていた

縄の動きを追っていた

足はでこぼこ地面を感じていた

いつのまにか、②時間がこそりと背中にまわり

縄が消えてなくなった

風を吸い込み溶けていった

眺んでいるのも忘れてしまい

③ 生まれ変わった宙に浮いている

まっすぐ向こうに海が見える

気流に遊ぶかめが見える

誰かが大きな風を上げる

ぼくも太いしほの唸り風

縄の唸りが不意に戻る

かかとのリズムは、④収穫祭の踊り

休むことなく地球をたたく

手首のリズムは鳥の呼び笛

休むことなく風を誘う

なわとび

なわとび

とんと軽く、⑤蹴ったときから

どこでも好きなところに行ける

ぼくはそのまま夢の翼

ぼくはそのまま一つの恒星

(詩集『しあわせの基準』より)

(注意) 解答はすべて解答用紙に書きなさい。

問一 ― 線①「まあいい風のかじができる」とありますが、「風のかじ」とはどのようなようすを表現していますか。最もふさわしいものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 風をはこんでいるようす。
- イ 風をつつんでいるようす。
- ウ 風をつくっているようす。
- エ 風をまるめているようす。

問二 ― 線②「時間がこそりと背中にまわり」とありますが、これについて、次の問いに答えなさい。

- (1) 「時間がこそりと背中にまわり」とはどのようなようすを表現していますか。十五字以上二十字以内で説明しなさい。(句読点をふくむ)
- (2) 「時間がこそりと背中にまわり」という状態の後、ふたたび最初の状態になったことを示している部分があります。詩の中から、それにあたる一行を抜き出しなさい。

問三 ― 線③「生まれ変わった宙に浮いている」とありますが、どのようなようすを表現したものだと考えられますか。最もふさわしいものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 縄が消えてなくなり、まわりのすべてのものが目に入らなくなっているようす。
- イ 生まれて初めて体験するかのような、不思議な想像の世界で遊んでいるようす。
- ウ 地面を離れることによつて、今までとちがった景色が見えるようになるようす。
- エ なわとびに集中するうちに、まわりの世界が変わったかのように感じるようす。

問四 ― 線④「収穫祭の踊り」とありますが、ここから「ぼく」のどのような気持ちが読み取れますか。自分で考えて、一語で答えなさい。

問五 ― 線⑤「蹴った」は、「跳んだ」ことを表しています。これと同じように、「跳ぶ」ことを別の言葉で表現した部分を詩の中から二か所、それぞれ六字以上八字以内で抜き出しなさい。

問六 この詩にはさまざまな表現技法が使われています。この詩の中で**使われていないもの**を次から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 擬人法 イ 体言止め ウ 反復法 エ 直喩・明喩法 オ 隠喩・暗喩法 カ 倒置法

問七 この詩について解説した次の文について、正しいものを次から一つ選び、それぞれ記号で答えなさい。

- ア なわとびを楽しんでいる時の、ゆったりとした気持ちが詩の全体から感じられる。まるでスローモーションの映像を見ているようだ。
- イ 情景を目でとらえてえがくだけでなく、ほかの感覚も十分に働かせた表現をしている。からだ全体でなわとびを楽しんでいるようだ。
- ウ 季節感を感じさせることはをさりげなくちりばめて、ある季節のできごとであることを示している。季語をよみこんだ俳句のようだ。
- エ 表現技法を効果的に使うことにより、こころよいリズムを生み出している。リズムカルに縄をとんでいるようすが目につかぶようだ。
- オ 縄を一つ一つこえることにたとえて、人生を一步ずつ歩むことの大切さを表現している。生きることの楽しさが伝わってくるようだ。
- カ 縄をとんだときに作者だけが体験した不思議なエピソードを、読者にわかりやすく伝えている。まるで短編小説を読んでいるようだ。

